

議会議員に期待を寄せて

我が国見町は、町村合併のモデルとして管内に先がけて合併し60周年を迎え、着実な町政の発展とあわせ、県下に誇る町の振興のシンボルとしての「新庁舎」が立派に完成されましたことは、この上ない慶びであります。

この度、九千有余の町民の代表として衆望を担って選ばれました12名の新町議会議員の皆様に対して、衷心より敬意とお祝いを申し上げます。

合併当時議員86名、以来3回定数減を行い、平成19年4月少数精鋭の12名に改め、その英断は共感を呼び今日に至っております。

僭越ながら昭和42年5月、公民館報「くにみ」の記事「議



渡邊 等

(宮東町内会)

会に新風を」の一部をご紹介します。
 ◇新議員は、議会に新風を送り込むことで、マンネリズムになりやすい議会の空気に清新さを与えることは、新議員に課せられた第一の要件である。
 ◇「初心忘るべからず」の心構えです。
 ◇議員は、町民の代表者であって代理者ではない。議員の発言と行動は、多くの町民の共鳴と諒解を得るものであり、また大衆の負担に應えるものでなければならぬ。
 町から歴史まちづくり・道の駅（交流の場）をはじめ、明るいニュースが聞こえ、安心安全な町・夢と希望の持てる活力ある住みよいまちづくりが期待されます。
 町と相携えて、他町村から注目の国見町のさらなる発展のため、ご活躍くださいますようお願い申し上げます、私の拙い文を終わります。

に新風を」の一部をご紹介します。
 ◇新議員は、議会に新風を送り込むことで、マンネリズムになりやすい議会の空気に清新さを与えることは、新議員に課せられた第一の要件である。
 ◇「初心忘るべからず」の心構えです。
 ◇議員は、町民の代表者であって代理者ではない。議員の発言と行動は、多くの町民の共鳴と諒解を得るものであり、また大衆の負担に應えるものでなければならぬ。
 町から歴史まちづくり・道の駅（交流の場）をはじめ、明るいニュースが聞こえ、安心安全な町・夢と希望の持てる活力ある住みよいまちづくりが期待されます。
 町と相携えて、他町村から注目の国見町のさらなる発展のため、ご活躍くださいますようお願い申し上げます、私の拙い文を終わります。

6月23日 ～7月3日	6月議会定例会
6月25日	町街路灯管理委員会第50回通常総会
6月28日	第2回国見町に咲く中尊寺蓮を観る会開花式
7月1日	川俣町庁舎建設特別委員会来庁
7月2日	新人議員研修会(福島市)
7月3日	広報常任委員会、自衛隊協会創立20周年記念式典・祝賀会
7月4日	くにみ市場、くにみ元気まつり(オープンセレモニー)
7月6日	伊達市消防組合議会全員協議会・臨時会
7月9日	伊達郡正副議長局長会議(福島市)
7月13日	自衛隊国見町父兄会総会
7月14日	広報常任委員会
7月15日	町交通対策協議会、公立藤田病院組合議会全員協議会・臨時会
7月17日	伊達郡町議会議員大会(川俣町)
7月18日	上野台運動公園プールオープニングセレモニー 森江野夏祭り
7月21日	議員懇談会、広報常任委員会
7月24日	広報常任委員会
7月31日	議会運営委員会、全員協議会 第4回議会臨時会、広報常任委員会
8月3日	正副議長・事務局長研修会(福島市)

議会の動き



7月1日、川俣町議会庁舎建設特別委員会の皆様が役場新庁舎を視察に来庁されました。庁舎内のレイアウトや使用した材質など熱心に質問されていました。



編集後記
 委員 渡邊 勝弘
 副委員長 佐藤 定男
 委員 浅野 富男
 阿部 泰藏
 松浦 常雄
 村上 一

3・11大震災によって壊れた役場庁舎も新しくなり5月7日から業務を開始しました。そのもとで一般選挙が行われ議会の組織も改められました。
 編集委員会のあり方もこれまでとは例外的な扱いでしたが、今後は委員会条例に規定された常任委員会としての位置づけとなり議員活動の一部になりました。
 議会だよりの発行に重責のある委員会ですが各地の議会を視察する中では、多くの時間をかけて編集している委員会もあること等から明確な位置づけが必要との結論になったものです。
 議会だよりは議会活動を逐一町民の皆さんにお知らせする大事な広報ですが、編集の仕方も常に変化しています。研鑽を重ね時代に即した紙面づくりを心がけます。
 (浅野 富男)